

みまや小だより

教育目標
やさしい子
かしこい子
たくましい子

いわき市立御厩小学校長 鈴木 英直

令和7年度 第1学期終了

本日、72日間の令和7年度いわき市立御厩小学校第1学期が終了しました。

本校の子どもたちは、「あいさつ 日本一」を目標に、元気にあいさつができるようになり、学習に、運動に、学校行事に、その他の教育活動に真剣に且つ前向きに、一生懸命取り組んできました。一人一人確実に成長しています。その成長を認め、褒め、励ましてください。きっとお子さんの素晴らしい可能性と素晴らしい笑顔が見れるはずです。そのためには、じっくりお子さんと話をする機会を設けてください。

教育活動へのご理解とご協力に感謝

令和7年度御厩小学校では、「体験・経験を重視した教育活動」をモットーに、日々の授業・授業参観・懇談会・PTA総会等、運動会・PTA奉仕作業・陸上競技大会・見学学習やプール学習・外部講師による出前授業、スクーデント・シティなど様々な教育活動に取り組んで参りました。その中で、子どもたちは元気いっぱい、自分たちのすべきことを考えながら生活し、学習し、運動し、成長してきました。実に素晴らしい子どもたちです。そのお子さんを育ててくださっているご家族の皆様に心から尊敬と感謝しております。

学校での様子や学習の様子など先日の個別懇談で、担任から話があったと思います。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

夏休みに向けて

明日からの夏休みに向けて、子どもたちと4つの約束をしました。

1 命を大切にすること。

たった一つの自分の命。決して無駄にしないこと。

命にかかるような危険なことを「しない・させない・あわない」

そのためには、お家の約束・学校のきまり・社会のルールをしっかりと守ること。

2 夏休みを使っていろいろな経験・体験をしてみる・挑戦すること。

夏休みだからできること、夏休みを利用して挑戦しようと思っていることに取り組む。

その経験・体験・挑戦を自分の武器（アイテム）にすること。

（どう生かすかを考えること。）

3 基本的な生活習慣を守ること。

夏休みだからといって、夜遅くまで起きていたり、朝いつまでも寝ていたりなどのないように「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけること。

4 1日1日・1つ1つ必ずめあてを持って生活したり、取り組んだりすること。

「今日1日これをするぞ・これができるようになるぞ」など、また「これを完成させるぞ・ここまで頑張るぞ・これを覚えるぞ」など1つ1つやることにめあてを持つこと。

家庭では、次のことを実践してみてください。

- 宿題のスケジュールを立てさせること。
- 子どものやりたいことを書き出させること。
- 目標やめあてを立てて生活させること。
- お手伝いを1つはまかせること。
- 規則正しい生活を心がけさせること。

そして、ご家庭の可能な範囲で、「夏休みだからできること」を是非、体験・経験させてみてください。

経験・体験は、生かし方次第でお子さんの力となります。経験・体験した後、お子さんと「どうだった？」「よかつたことは？」「失敗だと思ったことは？」「次にどう生かしていくの？」など話し合うことが大切です。宜しくお願いいいたします。

学校教育と家庭の軸（しつけ）

どちらも子どもを育てる上で欠かせないことです。しかし、曖昧になりがちなこともあります。そこで、その目的や方法、対象となる内容に違いがあるので、学校と家庭で再確認してみたいと思います。

1 目的

- 学校教育
社会で生きていく力（知識・技能・協働性など）を身につける。
- 家庭の軸
人としての基本的な生活習慣や道徳観、礼儀を身につける。

2 教える内容

- 学校教育
国語・算数・理科・社会などの教科学習。
友達との協力や集団生活のルール。
多様な価値観の理解。
- 家庭の軸
あいさつ・食事のマナー・時間を守ること。
感謝や思いやりの心・言葉づかいや生活習慣の基礎。

3 役割

- 学校教育 家庭の軸
社会的な基準に基づいた教育
公平性や制度が重視される。→「集団の中でどう生きるか」を学ぶ。
- 家庭の軸
個人の価値観が色濃く反映される。
愛情を土台にした人格形成が中心。→「人としてどう生きるか」の土台をつくる。

つまり、学校教育は「社会性・知識の獲得」であり、家庭の軸は「人間性・生活の基礎」を養うことであると思います。

しかし、学校教育と家庭の軸は互いに補い合う関係にあると思います。どちらか一方では子どもはバランスよく育ちませんし、お互いに不足している部分は協力しながら補っていくことが大切です。ですから家庭で礼儀を学んでいる子は、学校でも自然に周囲に配慮ができるようになりますし、学校で友達との関わりを学んだ子は、家庭でもコミュニケーションの幅が広がる用になるのではないでしょうか。

学校教育は役割と責任を果たす努力をすること、家庭では親の役割と責任を見直し、果たす努力をすること、そして互いに連携・協力・情報の共有をしながら子どもたちを育てていきたいと思います。